



透析機器などの医療機器について説明した
展示会＝磐田市のららぽーと磐田

臨床工学技士ら 医療機器を説明

磐田、業務PR

磐田市立総合病院は25日、人工呼吸器など医療機器の展示会を同市のららぽーと磐田で開いた。医療機器に直接触れる機会を提供することも、

機器の保守管理や点検、操作の専門家「臨床工学技士」の存在をPRしようと初めて企画した。

会場にはマスクや挿管式の人工呼吸器、透析機器のほか、手術室で使う電気メスや内視鏡カメラ、鉗子(かんし)などを展示。同病院の技師ら12人が機器を扱う時の状況や操作方法などを来場者に説明した。自動体外式除細動器(AED)の適切な稼働方法も実践を通じて紹介した。

同病院臨床工学科の石田幸博技師長は「医療機器に特化してリーム医療の一翼を担っている。機器の高度化も進む中、安全安心な管理と操作で治療をサポートしていきたい」と話した。